

Q

小児洗礼は、子どもの権利侵害か？

親が小児（幼児）洗礼を授けることは、子どもの権利を侵害することになりますか。

（30代・女性）

Q+A

教会
質問箱

A

山元 眞

（行橋カトリック教会司祭）

近年、幼児に洗礼を授けることを望む親が少なくなっているようです。

教会では子どもの洗礼を強く望むのですが、親はそうでもないようです。親が望まない場合、教会は幼児に洗礼は授けません。なぜなら、親と教会の信仰の中で子どもは育っていくからです。

子どもが望まなければそれでいい。望めば、それもまたよし。結局、どちらでもいいということなのです。宣教司牧実習に来ている神学生がある日、次のような教話をしました。

「わたしはキリストと出会うまで悩んで悩み抜きました。何のために生きているのか。何を基準に、何を大切にして生きていったらいいのか。聖書を貪るように読みました。この時代、これからの時代を生きる子どもたちにぜひ洗礼を望んでいただきたい」

私見で申し訳ありませんが、わたしは、幼児に洗礼を授けることは子どもの権利を侵害することではなく、むしろ授けないことこそ、子どもの権利を侵害するのではないか、とさえ思っています。

この理由を聞いたときにわたしは、結局、親にとって子どもが洗礼を受けることはどうでもいいことなのだと思います。

「子どもの権利」として議論する方がおられます。この問題は「権利、義務」の問題ではなく、「愛」の問題だと思います。

なんでも聞いちゃおう！質問大募集

質問は、郵便またはファクス（03・3260・6699）、Eメール（shimbunhenshubu@kirishin.com）で新聞編集部「教会質問箱」係までお寄せください。